

ドリームカフェという新しい地域交流 ～町民で営業する日替わりカフェ～

大刀洗町 大刀洗町教育委員会 【コミュニティセンター】
生涯学習課 地域活動指導員 弥永 理恵子

1. 事業名 ドリームカフェ

2. 事業の目的

「人が集まりやすい空間の提供」

- ・町民の交流や集いの場の設置、講座やイベント、展示などを行える小さな施設
- ・町民が気軽に立寄れる飲食スペースの確保、町民の起業支援

3. 事業の実施主体

ドリームカフェの設置、管理運営、その他事務作業は大刀洗町
実際の営業そのものは大刀洗町の住民、団体

4. 実施に至る経緯

「ドリームカフェ」は平成28年5月1日にオープンしたばかりの、まだ新しい施設です。大刀洗ドリームセンターに併設されている「大刀洗町立図書館」の改修にあたり、ロビーであった場所を「集いの場」となるよう願ってカフェを設置しました。以前は、ドリームセンターで行事が無い日は閑散として活気が無く、どこか薄暗いイメージであったが、カフェを設置してからは温かく明るいイメージになったように感じます。

5. 事業の内容

「人が集まりやすい空間の提供」が「ドリームカフェ」の設置が決まった時のコンセプトであったため、上記の事業目的を踏まえて営業形態を模索しました。

企業の委託としての営業は、近隣の事例を見ても長期的営業は厳しいとの見方があり、現在日本全国で運営されている「コミュニティカフェ」の事例も参考にしつつ、出店者を地域の方から募って、日替わりで営業していく営業形態をとってみる方向で決定しました。

実際どの程度の希望があるか未知数でしたが、幸いカフェのコンセプトに賛同してくださった方の協力があり、日替わりカフェとして営業して行くという方向性が確定しました。

ただ、営業許可をとって飲食物を提供する以上、公民館の調理室のように、使いたい人誰にでも貸し出して営業する形などは、衛生面でも管理面でもとても不可能です。

そこで、事前に出店を希望する団体を募り、使用に当たっての研修を受けてもらってから出店していただくシステムとしました。つまり、出店者の事前登録制です。

「ドリームカフェ」という名称には、単に施設名としての面だけでなく、このカフェを運営していく団体名としての面もあります。

上記のように研修を受けて出店者として登録していただいた時点で、その出店者は自動的に「ドリームカフェ」という団体の一員となるわけです。

また、運営面、衛生面、施設整備の面など、すべての責任を負うのは「ドリームカフェ」という施設を作った「大刀洗町」になります。適切な管理運営をし、施設を衛生的に保つよう働きかけていくことがその役割になります。

こうして、大刀洗町と地域の出店者と協力し合っ、て、「ドリームカフェ」を作り上げていくことになりました。

実際の出店方法について少し詳しくご説明します。

出店できるのは、町内在住・在勤の個人、団体、企業です。年齢や資格などはまったく問いません。

施設使用料は1時間300円で、光熱水費、冷暖房費が含まれます。

食器や鍋など最低限の備品は設置しており自由に使っていただけますが、衛生用品、鍋以外の調理器具、食材、その他必要と思われるものは各出店者でお持込みいただきます。

また、退店時の清掃は隅々まで徹底的にお願いしています。(キッチン内の床の清掃は、完了後に自分が寝転がれるまできれいに、という目安を伝えています)

その他、衛生面での決まりを守っていただき、出店していただいています。

以上の内容を厳守いただければ、あとの営業形態は各出店者に自由に決めていただけるようにしています。

提供する飲食物の種類、値段、数量、お店のコンセプトや方向性など、むしろ各出店者の個性を出していただけるようお願いしているところです。

実際に、現在登録いただいている出店者は11団体あり、主婦のお友達同士、ご夫婦、カフェ開業を目標にしている方、ボランティア団体など実にさまざまです。

また、自家焙煎のコーヒーを売りにしている店、手作りお菓子がメインの店、地元の野菜をふんだんに使ったカレーの店、おしゃれなパスタランチの店、和風のランチを出すお店など、目玉となるものも金額も、出店者によってまったく違います。

それぞれの得意分野も、出店理由も、年代も性別も、千差万別、お店の雰囲気やメニュー、運営方法なども違ういろんなお店が、かわるがわる出店するカフェ、それが「ドリームカフェ」です。

6. 事業の成果

さまざまな方が集まって出店していただいているおかげで、それまであまり「大刀洗ドリームセンター」に立寄られることがなかった方にも、足を運んでいただけるようになりました。

中には、一人暮らしの高齢女性から「家で、ひとりでお昼ご飯を食べるのは味気なかったけれど、こうしてカフェができたおかげで、近くに人がいて、あったかいご飯が食べられるのは嬉しくてありがたい」と「常連になるから長く続けてください」とお声をかけていただいたこともありました。

このドリームカフェには、企業運営によるプロの行き届いたサービスはありません。ですが、地域の方が出店・営業をしているため、カフェの雰囲気も地域に寄り添ったものになって、お友だちや近所の方も立ち寄りやすくアットホームなカフェになりました。

当初のカフェのコンセプト「人が集まりやすい空間の提供」という意味では、それに沿ったものになっていると思います。

